

えいよう

通信

2023.7 第161号



いただきます！ラボ in 高知県の活動を紹介

いただきます！ラボは、2017年に誕生して、子供達を対象に台所で楽しく学べる実験講座を主に展開しています。ラボの活動はSDGsを教育ツールとして活用しており、SDGsのカードゲームや『地球1個分の暮らし方』のワークショップ、食育ドキュメンタリー映画の上映会などを通じて、環境、社会、経済の課題について考える場をつくっています。

実験室は、料理教室をより科学的にして食品の色や形の変化を楽しく学ぶ実験講座です。

ビタミンB2の蛍光特性を利用した『光るグミ』や、紫キャベツの色素アントシアニンのpH変化を利用した『カメレオン焼きそば』、空き缶でつくる『手作り綿あめ』も人気だそうです。

どれも台所にあるもので簡単に実験できます。

この企画のヒントとなったのが『STEAM教育』。

S:Science 化学 T:Technology 技術 E:Engineering 工学 A:Arts 芸術デザイン M:Mathematics 数学 の頭文字をとってつくられた言葉です。各教科を横断的に考えたり検証しながら実社会で応用する力を育む教育概念です。台所を原点に、子供達の好奇心や探求心に花が咲く事でしょう。

食品や食物だけでなく、理科や芸術、社会や環境など様々な事に興味を持ちその枠を超えて学んでいける、そのような活動をされているそうです。

子供達は、光ったり、泡が出たり、膨らんだり、固まったりする変化を見ると目を輝かせて楽しみ、自らドンドン実験を展開させていきます。視覚、聴覚、臭覚、触覚、味覚の五感をフルに使って全身で遊ぶ姿は本当に楽しいだろうと、そんな姿が目見浮かびますね。

そして更に、子供達は学んだ事を当たり前前に即実践します。

時には大人にダメ出ししてきますよね。

『ゴミはちゃんと分別しなきゃ！』『マイバッグ持ってきた？』『なんでダメなのにここでタバコ吸うの？』『なんで戦争がはじまるの？』と、大人もタジタジですね。

子供達の発言力は偉大です。彼らは純粋で正義感が強く率直です。未来の地球のために多くを学び、SDGsに取り組んで発信して行って欲しいですね。



暑いですが
冷やしすぎには
注意しましょうね
どうぞご自愛ください。

